

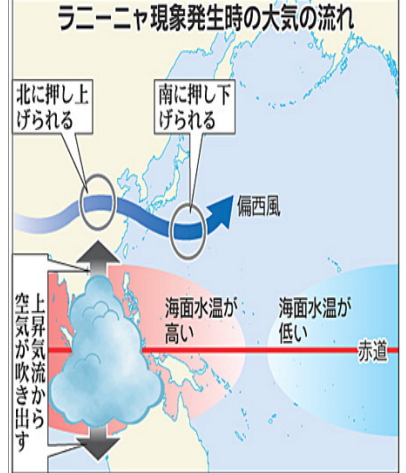


平成 24 年 2 月  
第 8 2 号  
編集 成田

# サンショウにゆうす

(発行)2012年 2月  
秋田市山王沼田町6-29  
カルディア山王1階  
TEL:018-874-7441  
FAX:018-863-9870

この冬は大雪、厳寒と厳しい天候が続いておりますが、今年の寒さの原因と言われているのがラニーニャ現象と、まさにこの記事を作成中に入りました新情報で(汗)2/1に海洋研究開発機構より発表となりましたバレンツ海の海水減少です。さて、なぜラニーニャによって日本の冬が寒くなるのでしょうか。ラニーニャ現象とは、南ペルー沖の海面温度が急激に下がることによって起きる現象です。エルニーニョ現象と正反対の条件を作り出す現象で、男の子を意味するエルニーニョという名前と対に女の子を意味するラニーニャという名前が付けられました。新情報のバレンツ海の海水減少につきましては今後勉強し皆様の元へ情報をお届けしたいと思います( ^\_^ )



## エプロンなしで食事を

大阪府のとある老人ホームでは70人余りの入所者がおり平均要介護度が「4.4」大半が車いす利用者ですが全員がエプロンなしで食事しているそうです。

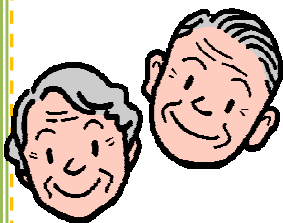
以前はエプロンをするのが当たり前だったこの老人ホーム。ある職員さんが外部の研修で、エプロンを着用させると「尊厳を傷付けられた」と感じる場合があることを知り、「工夫次第でエプロンなしでも食事ができるのではないか」と考えました。

その後入所者の食事の際の動きや姿勢を観察し、姿勢の不安定さや口とトレイの高さが合わないことが食べこぼしの原因とわかりました。

そこで、テーブルの脚を切る、足元に台をおく、クッションを使用し姿勢を安定させるなどの工夫を試してみると予想以上に食べこぼしが減った上に、食欲も全般に向上、残飯も減ったそうです。エプロンの着用はこの人は食べこぼしをします、とラベルを張っているようなものエプロンを使用しないことは活力や自信にもつながりません。何かを省くために何かをするのではなく、手間をかけ工夫をすることで尊厳を守りながら

良い結果を出せたという納得の事例でした。

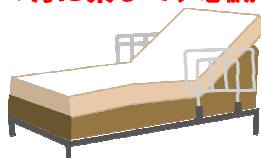
※朝日新聞掲載記事より



## 疾病の特徴

### 心疾病とベッドの活用

心疾患全体に対して言えるのは血圧を上げない事が重要です。起居動作時には力んで血圧が上がらないように、背上げ、ハイロー、介助バーが必要と考えられます。寝た状態では血液が体の上の方に集まり、心臓の処理をする血液量が増えます。寝ていると夜中に息苦しくなる方の場合背上げによって体を起して、血液を下の方に集め、心臓の負担を軽くすることが望ましいといわれています。



狭心症	冠動脈が動脈硬化をおこし血管が狭くなる
心筋梗塞	冠動脈が血栓により詰まる。
心室細動	心房が細かく震える
除脈	心臓の収縮回数が減る
大動脈瘤	大動脈の壁がこぶのように膨らむ

## 新レンタル商品追加！！

新しいレンタル商品の取り扱いが決まりました！！新機能を持ったエアマットや、框用の手すり、車いすなどなど随時ご紹介してまいりますので、実施中の住宅改修キャンペーンと併せてよろしくお願い致します( ^\_^ )